

涼風だより

2022年 冬号 Vol.19

12月1日発行



デイステーション涼風では、利用者様の「リハビリテーション」を目指すために、各自に合わせた訓練や活動を提供しています

デイステーション涼風

〒184-0012 小金井市中町 1-7-34

合同会社セルフクリエイト

Tel : 042-316-4543

HP : <http://sc-suzukaze.com/>

Mail : sc-suzukaze@hb.tp1.jp

<コロナ関連その後>

施設長 石井晴美

豪華客船の情報から始まったコロナとの暮らしは丸3年が経とうとしています。今年に入って涼風でも初めて感染が確認されましたが、どなたもすっかり回復され、またおかげ様で感染が拡大することはありませんでした。と言っても、誰がいつどこでかかっても不思議はない状況が続いていますので、気を抜くことはできません。

感染対策は今まで通り、三密(密閉、密集、密接)を避け、消毒、手洗いを欠かさずに続けています。少し緩和したのは、毎年恒例のハープリサイタルに当日の利用者様以外にも参加していただいたことです。わざわざタクシーやココバスを使って参加し「気持ちが安らいだ」と喜んでくださいました。

早くマスクを取って、表情豊かにおしゃべりがしたいですね。大きな声で歌いたいですね。と言っても難聴の方が多くなってきており、職員の声は必然的に大きくなってしまっていますが、職員はホワイトボードに書くなどして活動を楽しめるように工夫しています。また、秋の気候の良い日は、人工芝を張って歩きやすくなった庭の活動を多くしています(裏面の写真をご覧ください)。

<涼風の介護予防日常生活支援総合事業貢献>

2016年から始まった介護予防日常生活支援総合事業ですが、介護予防を身近な地域で取り組んでいこうとするもので、小金井市でもわずかではありますが具体的な事業が進んでいます。そのいくつか涼風も参加しています。

- ①A型事業＝要支援の方々で、比較のお元気な方が心身機能の訓練や他者との交流を目的に通所しています。コロナのせいかこうした方々の新規利用はほとんどなく現在は2名のみとなっています。
- ②C型事業＝昨年のモデル事業の受託から始め、3か月間限定の通所事業で、現在は年間3クール、2名ずつの市民が参加しており、いずれも効果絶大で、測定値は向上し、介護予防方法を身に付け、更にお元気になられています。
- ③さくら体操の会管理＝さくら体操の会は2009年に石井も関わって設立した、高齢市民のための通いの場で、「さくら体操」をメインに活動しています。今年度から市内の4事業所が関わって支援するようになり、涼風も2グループに定期的に出かけて講座や活動支援、測定会などを行っています。
- ④「麻雀教室」と「生き生きクラブ」も、元気でいて頂くための通いの場として提供しています。

来年も本事業に加えて、これらの予防事業に参加していきたいと思っています。